
狂愛 Kyo-Ai 永遠の執着

飲茶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狂愛 Kyo - Ai 永遠の執着

【Nコード】

N5615P

【作者名】

飲茶

【あらすじ】

愛に溺れ闇へと気持ちを沈めていく海^{かい}。愛されたがゆえにストーリーキングされる美喜^{みき}。

ストーカーと化した海は現実が見えなくなり、膨らんだ欲望は妄想と愛憎を混濁したまま、美喜へと向けられる。

人の人生が暗転していく瞬間とは……。

プロローグ（前書き）

いくらか残酷な描写が在ります。15歳未満の方、また残酷な描写が苦手な方はご注意ください。

プロローグ

愛に溺れ愛しさからあなたを憎む。溢れ出る憎しみの怨念はあなたを求め地を這う。やがて手足が生まれあなたの背後へと近づくことだろう。

愛とは時に愛する者の血肉を喰らうことを望み、憎悪に酔いしれることを好むもの。また愛されているのだと狂信する。

その夜俺は、ミズレまじりの風が肌に差し込み全身が麻痺したようになりながら繁華街を歩いていた。

冷たいとか寒いという感覚は既に無かった。

それは、思った通りの方向には動せない麻酔の効いたままの人間の状態と似ていた。

風の勢いは時間と共に増してきたように思えた。思うように動かない腕を動かし時間を確認した。深夜0時15分。約束の時間まで45分ある。

時間を確認した途端に苛々感が増す。腹の底から怒号が突き上げてくる。

この後の45分をこうして街を彷徨ったとしても、あの女は来ないかもしれない。或いは、土壇場になって逃げ出すかもしれない。

この場で大声を出し叫びたくなる衝動を辛うじて口の中で飲み下した。

怒りに任せていたらひとつにはなれない。最後は、その気持ちだけが衝動を抑えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5615p/>

狂愛 Kyo-Ai 永遠の執着

2010年12月18日02時27分発行